

平成 18 年 3 月 20 日

国際会議参加報告書

情報基礎科学専攻  
助手 伊藤 康一

国際会議名：International Conference on Biometrics (ICB) 2006

開催期間：平成 18 年 1 月 5 日～1 月 7 日

開催地：香港（中国）

開催規模：参加国数 15 カ国，参加人数 150 人

参加報告：

ICB は、今回で 2 回目の開催となるバイオメトリクス（生体認証）に関する国際会議である。この会議では、バイオメトリクスにおける最先端のアルゴリズムの提案やシステムの開発に関する発表が主であり、オーラルセッションとポスターセッションから構成されている。今回は、世界各国から 150 名程度の研究者が参加し、活発な意見交換が行われた。また、学会の開催期間中には、各大学や企業が開発している製品の展示もあり、最先端の技術に直に触れることもできた。

本研究者の研究グループでは、紋認証 2 件（2 件ともポスターセッション）、虹彩認証 1 件（オーラルセッション）の論文が採録された。この中で、本研究者は、筆頭著者である指紋認証に関する論文“A Fingerprint Recognition Algorithm Combining Phase-Based Image Matching and Feature Based Matching”をポスターセッションで発表した。ポスターセッションでは、本研究者の研究グループで提案している位相限定相関法 (Phase-Only Correlation: POC) と呼ばれる画像の位相情報に基づく画像照合手法が指紋認証で有効であるとともに、従来法である指紋の特徴を用いた指紋認証アルゴリズムと組み合わせることで大幅に性能向上することを発表した。画像の位相情報をバイオメトリクス認証に用いることは世界でも本研究者の研究グループのみで、多くの研究者が興味を持ってポスターを見にきていた。主に、なぜ位相情報が有効なのか、位相情報を使う利点何かなどの質問をいただき、活発な質疑を行った。

以上のように、今回参加した ICB では、今後の研究に役に立つ多くのことを得ることができた。